



日本共産党 荒川区議会議員

Japanese Communist Party

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

922 2025年4月20日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所
荒川区町屋5-3-5
&fax 3895-0504

定例法律相談
5月7日(水)
18時~20時
横山区議事務所
連休のため曜日を変更



区が「子ども・若者総合計画」を策定 子どもの声を生かした取組を求めます

子どもたちが荒川区に求める施設・取組...トップ5

小学校5年生	
のんびりできる場所や取組	60.2%
運動ができる場所や取組	59.8%
友達と集まっておしゃべりできる場所や取組	57.8%
自然とふれあえる場所や取組	49.8%
本が読める場所や取組	44.6%
中2・高2相当	
運動ができる施設や事業	50.4%
勉強ができる施設や事業	47.5%
友達と集まっておしゃべりできる施設や事業	44.3%
のんびりできる施設や事業	39.8%
インターネットができる施設や事業	29.2%

**子どもたちの願いは...のんびりできる居場所など
区の責任で運営する児童事業の抜本的な拡充を**

荒川区は、一昨年の子ども子育てニーズ調査に基づき、「荒川区子ども・若者総合計画」(向こう5年間)を策定しました。

今回の特徴は、調査で保護者だけでなく、子どもたちが直接アンケートに答える内容があることです。

対象は、小学5年生と中学2年生・高校2年生相当の3つの年代でした。

これは、子どもの権利条約や荒川区子どもの権利条例にある「意見表明権」の具体化にもなります。

子どもたちの意見全体は、区のホームページでぜひご覧ください。ここでは、荒川区に求める事業施策について、その多くが夕方方の1時間程度中高生が多目的室など使え

特に中高生の居場所づくりはこれからです。現在実施されている内容は、花の木・熊野前の両ひろば館とふれあい館で、中高生タイムがもつけられています。

そして、子どもたちの願いを実現するためには、せめて各中学校区に中・高校生の居場所の機能を強化した施設を整備することが求められます。

《未就学児世帯》

	2023年度		2018年度	
生活困難層	19.9%	(204件)	15.5%	(204件)
困難層	8.2%	(84件)	4.6%	(61件)
周辺層	11.7%	(120件)	10.9%	(143件)
一般層	80.1%	(820件)	84.5%	(1,109件)

《就学児世帯》

	2023年度		2018年度	
生活困難層	19.7%	(192件)	20.0%	(249件)
困難層	6.5%	(67件)	6.5%	(81件)
周辺層	13.2%	(125件)	13.3%	(168件)
一般層	80.3%	(685件)	80.0%	(997件)

2割近い生活困難層への支援は、今回の計画では、学習や進路への支援メニューが出されて、その後の具体化されています。また教材費、修学旅行など無償化が実現しました。さらに保育の完全無償化や児童扶養手当の拡充も課題です。

荒川区の木が「サクラ」で花が「サツキ」となっている。区民の意見を募集して選定されたこととされています。

また、「歴史的にも荒川(現在の隅田川)沿いには五色桜・八重桜、ひぐらしの里には彼岸桜等があり、また、明治の文学や歌川広重の名所江戸百景にも荒川の桜見物の話が出てくること、江戸時代に将軍が鷹狩に行く途中、荒川土手で桜を植えた記録があることなどが選ばれた理由」と記されています。



花が「サツキ」となっている。区民の意見を募集して選定されたこととされています。

また、「歴史的にも荒川(現在の隅田川)沿いには五色桜・八重桜、ひぐらしの里には彼岸桜等があり、また、明治の文学や歌川広重の名所江戸百景にも荒川の桜見物の話が出てくること、江戸時代に将軍が鷹狩に行く途中、荒川土手で桜を植えた記録があることなどが選ばれた理由」と記されています。

花が「サツキ」となっている。区民の意見を募集して選定されたこととされています。

また、「歴史的にも荒川(現在の隅田川)沿いには五色桜・八重桜、ひぐらしの里には彼岸桜等があり、また、明治の文学や歌川広重の名所江戸百景にも荒川の桜見物の話が出てくること、江戸時代に将軍が鷹狩に行く途中、荒川土手で桜を植えた記録があることなどが選ばれた理由」と記されています。

町屋さくら復活・移動の自由保障を考える... (51) 汐入さくらの廃止で雨天時の都バス長蛇の列...

3月いっぱいまで汐入さくらが廃止。区は、都バスがあるから大丈夫と廃止による影響調査をまともに行いませんでした。しかも、都バスが「雨天便」を廃止したこともあり、通勤通学時間帯の都バス停留所に長い列ができたようです(下写真)。

区は、乗車率など影響調査を行うべきです。また、都交通局と連携し汐入地域が交通不便地域とならないような対策対応を行うことが求められます。

それにしても、あくまで実態把握のしない区の姿勢は、異常というしかありません。



裏面 自転車撤去方法の変更、災害時医療体制など...

荒川区政トピックス

新年度に入って、荒川区政においても様々な変化が起こってます。米トランプ関税問題なども区内経済にどう影響してくるのでしょうか。区の施策についてお知らせします。

災害時の医療救護体制について 令和あらかわ病院が災害拠点病院へ

女子医大東医療センターの足立区移転により、区内の災害拠点病院がなくなっていました。このたび3月31日付で東京都が令和あらかわ病院（240床）を災害拠点病院に指定。これを機に区は、災害時医療の充実強化をさらに進めるとしています。

災害時「緊急医療救護所」の新たな指定

災害時の医療救護所について、岡田病院、佐藤病院の同意を得て新たに指定されました。（尾久西小は、佐藤病院変わる）

今後は、災害拠点病院と4つの連携病院が災害時の中核的な医療を担うことになります。



区内の緊急医療救護所

東京都立大学荒川キャンパス
東京リバーサイド病院
第三日暮里小学校
岡田病院・峡田小学校
木村病院・第六瑞光小学校
佐藤病院

区の放置自転車対策がかわりました 4月から自転車の撤去回数を増加



専用端末で撮影します

荒川区が4月から放置自転車対策を強化。これまで不定期に行っていた放置禁止区域の自転車の撤去を毎日行い、さらに夜間や土日にも実施。また、区域外でも通報があれば速やかに対応するとしています。

新たな放置自転車撤去方法

警告札を自転車に貼り付け、専用端末で撮影し写真を送信
場所はGPSで自動登録

撮影から1時間後に確認
放置されたままなら撤去以来を送信

撤去係が自転車を撤去、保管場所まで移送

警告札を貼り付けてから撤去するまでの時間は、これまで通り1時間程度とのことです。

1年間に3500台を撤去

放置自転車は減少傾向ですが、2023年度も3,540台を撤去。保管スペースや管理の負担増への対応も必要ですが、撤去台数の半分程度しか返還していません。返還料が5000円と高いのも原因です。この際引き下げの検討の必要でしょう。本質的には、商店街なども含め、駐輪場の整備と誰もが通行しやすい空間の確保を進めるべきです。

シルバー人材センターの仕事が減少

対策強化にあたって、民間企業への業務委託となり、これまでシルバー人材センターが行っていた注意札貼り付け業務が縮小、これまで従事した方の就労をどう確保するかも課題です
みなさんご意見もお寄せください。

放置自転車対策コールセンターを開設

4月1日（火曜日）から、放置自転車の撤去に関するコールセンターを24時間対応で開設します。

放置自転車対策コールセンター 03-4530-3832



区が米国関税措置に関する 「中小企業臨時相談窓口」を設置

米トランプ関税の影響は、今後中小企業の影響にも大きく関わってきます。

そのため区は、臨時相談窓口を設置しました。



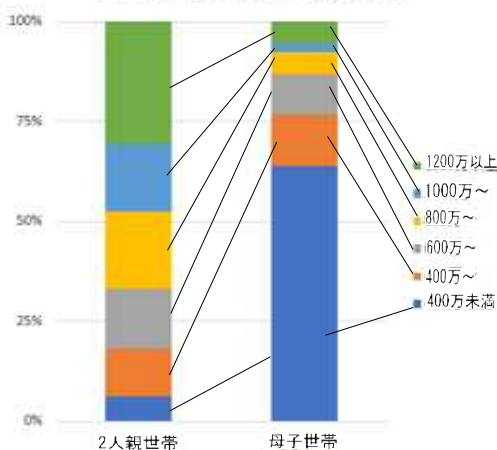
- (1) 開設時間：午前 10 時から午後 5 時まで（予約不要）
- (2) 場 所：経営支援課窓口（区役所本庁舎6F）
- (3) 体 制：企業相談員（全3名、うち1名常駐対応）
- (4) 支援内容：

様々な経営相談に関するアドバイスの他、制度融資やマル経融資利子補助等による資金調達支援、各種補助事業等の支援メニュー紹介など

産業経済部経営支援課 03-3802-3111（内線）474

今週のデータ ひとり親世帯の貧困問題は深刻 児童扶養手当の引き上げ・改善などを

子育て世帯の年収分布（23区）



※3歳児、小3、小5、中2、17歳児の母親回答
※「とうきゅうこどもアンケート（2024年）」の個票より舞田敬彦氏が作成

東京の母子世帯は、絶対貧困とともに「相対貧困」に苦しめられています。23区では、年収400万円未満の世帯が圧倒的に多い。数です。一般家庭と極端な違いです。労働問題と同時に、社会保障として児童扶養手当の抜本的拡充などが急務といえます。

修学旅行の万博参加について 安全確保の点からも見直しを申し入れ



日本共産党区議団は10日（金）、区長・教育長宛てに「修学旅行での万博参加にともなって、生徒と教員の安全確保を求める」要望書を提出しました。

大阪万博が4月13日から始まりましたが、開催直前に会場内で、メタンガスが爆発の危険がある濃度まで滞留していたことが発覚。場所は、地下の電気設備につながるマンホールから「空気と混ざり着火すれば爆発する危険性がある最低濃度（5 vol%）」を超えるメタンガスが検知され、消防が出動、周辺は立ち入り禁止となりました。

荒川区からも3校が予定

修学旅行や遠足など教育関係の万博チケットは170万枚を販売しており、荒川区内でも中学校3校が5月、6月、9月に修学旅行で万博を訪れる予定です。メタンガスの滞留を受けて、千葉県の子市立中学校では「安全性が担保できない」と行先を変更。他にも医療確保体制や熱中症対策などにも心配の声があがっています。文科省と旅行代理店が一体となって万博参加を押し進めてきたことで、子ども・教員の安全対策が追いやられてはいないでしょうか。教育委員会として最低限、万博に関する状況を正確に把握し、子ども・保護者・教員の意見を聞いて安全確保の対応に力を尽くすよう求めています。